



シルバー人材センターシンボルマーク

このマークは、全国のシルバー人材センターで働く高齢者が広く連携し、共に働き、共に助け合っていくことをめざして作成したものです。

デザインは、シルバー（Silver）の「S」とセンター（Center）の「C」で飛翔する鳥と、動き出す人の姿を表現しています。



第 45 号

平成 24 年 8 月 1 日

発行

公益社団法人

安曇野シルバー人材センター

住所

安曇野市豊科 5126-1

TEL 0263-72-5800

FAX 0263-73-6484



常念岳とひまわり畑（堀金・烏川）

## 再任にあたり

理事長 横山 幸久



会員の皆さまにはご健勝のこととお慶び申し上げます。

シルバー人材センターをとりまく環境は年々厳しくなっております。センターの基本理念であります「自主・自立・共働・共助」を会員の皆さま一人ひとりが自覚と誇りを持ち、事故のない「安全・適正就業」をしていただき、地域の皆さまに信頼される就業を、また、シルバーの和、人の和を持って「絆」を深め、心豊かに潤いのある人生を過ごされるようお願いいたします。

さて、平成24年度の定時総会が5月30日に多くの会員各位のご参加により、功労者の表彰と諸議案を議決承認していただきました。お礼申し上げます。また、設立20周年記念式典には来賓の皆さまのご臨席を賜り、お祝いと励ましのお言葉をいただき盛大に開催され、長年ご利用いただいたお客様に感謝状、協力いただいた会員の方に表彰状の贈呈をいたしました。祝賀会では20周年を回顧し参加された方みなで、喜びを分かち合えた一日でありましたことに感謝し、厚くお礼を申し上げます。

本年は役員改選があり、私が理事長に再任され、身の引き締まる思いで誠に恐縮しております。初心にかえり鋭意努力する覚悟であります。新体制のもとに役職員一丸となって、センターの発展のため頑張ります。今後とも行政をはじめ地域の皆さま、会員の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆さまのご健勝とご活躍をお祈り申し上げて挨拶いたします。

平成24年度定時総会開催

今年度は、安曇野シルバー人材センターが設立20周年の節目の年を迎えたことにより、前段に定時総会を後段に記念式典を、5月30日スイス村サンモリッツで開催されました。今回は、総会後に記念式典・祝賀会が開催されることもあって、通常の総会よりも数十名多い180名の会員が出席されました。

制定して3年目になる「安曇野シルバー人材センター憲章」を古幡理事の先唱に続いて全員で唱和しました。

次に、横山理事長の挨拶の後、表彰が行われました。会員表彰では、77歳以上で過去5年間に100日以上就労し、センター事業に積極的に寄与された会員18名に、また、役員を2期以上務め、センター事業の発展に尽力し、退任された会員9名に横山理事長から表彰状と記念品が贈られました。受賞者を代表して、豊科地区の丸山昭廣会員より謝辞がありました。

続いて議長に豊科地区の山田昭一会員が選出され、議事に入りました。議案第1号・平成23年度事業報告、議案第2号・平成23年度収支決算報告については、原案どおり承認されました。議案第3号は、役員任期満了に伴う新しい理事12名、監事2名の人事案件が提出され、原案どおり選任されました。



副理事長就任にあたり



山田裕也

この度、はからずも副理事長という大任を仰せつかり、その責任の重大さを感じているところです。横山理事長を補佐し、当センターがより発展することに力を尽くして参りたいと思っております。会員皆様のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

センターの会員はいわば「一人親方」で、基本的には道具などは自分持ちで、事故等についても一応「自己責任」とされています。ただし、センターとしても安全な仕事の提供には十分配慮し、安全研修会の実施や、安全委員会等の組織においても安全就業の達成には努力してまいります。事故に遭うと、本人や家族はもちろん、一緒に仕事をしている会員、センター事務局、仕事の発注者等の人たちに心理的身体的に苦痛を与えてしまうこととなります。事故から身を守るためには、会員一人ひとりが仕事を選ぶときから、安全は自分の問題として取り

表彰者一覧

Table listing award recipients by category: 地区名 (Region Name), 職員表彰 (Staff Award), 役員表彰 (Executive Award), and 地域班長 (Local Class Leader). Recipients include names like 丸山昭廣, 赤沼ちよみ, 山崎今朝登, etc.

組み「安全自己管理」という意識を持っていただきたいと思えます。そのためには、全国シルバー人材センター事業協会発行の「安全就業のためのチェックポイント」の冊子を熟読してほしいと思います。

元気に毎日過ごすには、仕事ばかりでなく、適度に力を抜いて趣味に打ち込むことも必要だと思います。幸い互助会には、マレット・カラオケ・料理等のサークルがありますので、積極的に参加し、会員相互の親睦を図り、毎日を楽しく、生きがいを持って過ごしてほしいと思います。

結びに会員皆様様のご健勝のご活躍を祈念し、就任の挨拶いたします。

設立20周年記念式典



堀金地区 長谷川よし子

5月30日、スイス村サンモリッツ中ホールにおいて、設立20周年記念式典が行われ、行政や市議会関係者の方をお招きして、平成4年4月安曇野シルバー人材センター発足以来20年、歴史を振り返り、今後の発展のため誓いをあらたにしました。

横山理事長は式辞で、センターで働いてこられた人たちに、感謝の気持ちと技を活かし、地域の発展に寄与していきたい」と挨拶されました。

今までにセンターに多くの仕事を発注してくださった8事業所に感謝状贈呈があり、また、長年にわたって活動してこられた会員3人に特別表彰状が贈られました。受賞者を代表して謝辞がありましたが、事業所・会員どちらも「今後センターの発展を祈念する」と感謝の気持ちを述べられました。

続いて大ホールにて祝賀会がはじまり、理事長の挨拶、北アルプス広域シルバー人材センター中村理事長様の乾杯のご発声で祝宴がはじまり、同時に明科龍神太鼓の豪快な響きに思わず力が入りました。次は落ち着きのある詩吟、松本深志岳風会の方々により「歳月重ねて茲に20年」を吟じられましたが、まさに20周年記念にふさわしい詩でした。続いて北山結香さんらによるマリンバの演奏。軽快なリズムで懐かしい曲を何曲も弾

新役員が決まりました!

Table showing the new board members for the next term, including 理事長 (President), 副理事長 (Vice President), 専務理事 (Executive Director), 理事 (Directors), and 監事 (Supervisors).

退任役員

Table showing the outgoing board members, including 副理事長 (Vice President), 理事 (Director), and 監事 (Supervisor).

大変お世話になりました。

Table titled '平成23年度事業実績' (Business Performance FY23) showing metrics like 会員数 (Membership), 延日人員 (Person-days), 就業率 (Employment rate), etc., with 22年度, 23年度, and 前年対比 (Year-over-year comparison) columns.

いていただきました。

本堂にいろいろと趣向をこらしたアトラクションで、祝賀会に華を添えていただき大盛会で終わったことを嬉しく思いました。



横山理事長が全シ協より表彰を受ける!

6月25日に開催されました、全国シルバー人材センター事業協会設立30周年記念の式典会場において、当シルバーの横山理事長が長期就任役員表彰者として県下で8名の理事長と共に受賞されました。

# 安全・適正就業委員会だより

## 安全適正就業委員長

鹿川 祥彰

会員の皆様には日々の就業ご苦労さまです。今年も「安全適正就業」を最重要事項として取り組み各種の安全講習会を開催して参ります。是非会員全員が自分の事として参加されるよう希望します。例年、重篤事故に至らぬまでも依然として傷害・物損賠償事故が発生しています。危険な作業は受けない、しない、させない、を基本に安全が第一で取り組みます。私は「安全は買えない、造るものである」と考えています。それは装備が完全でも安全に対する意識や心構えに加えて健康が最大の要件であると考えます。安全を造るとは、小さな日常の心配りの積み重ねであり、他人（発注者、仲間）の為にお互いが気配りをする事により、自分も恩恵を手にすることであります。皆様も長く働いて来た中では、ヒ

ヤリ、あるいはハット、したことが大なり小なりあったがその時は事故にならなくて良かったけれど「冷や汗ものだった等」、経験されておられることと思います。それらは反省してみると、慣れによる『これ位なら何とかなるだろう』と甘く考えての小さな油断、不注意や心配事、体調不良による、疲れなど何らかの原因がありこれらが重複している事が多く、特に仕事上ではその時々の変化に対応するには細心の注意を払い、かつ心身共に健康であることが肝要です。作業の始まりには発注者や仲間との挨拶と作業手順の打ち合わせと同時に何が危険かを確認すること。これから夏の時期へと向かいますが熱中症をはじめ、年齢(加齢)による身体能力の低下を念頭に就業場所への交通事故を含め後悔先に立たずにならないようお互いに『自分の身は、じぶんで守ること』の声かけを合言葉に無事故

を目指して頑張りました。

### 平成24年度

### 「安全・適正就業対策推進の重点目標」

- 1 重篤事故防止と事故件数減
- 2 安全ミールディングの励行
- 3 安全装備使用の徹底
- 3 交通事故防止



三郷地区 摘果講習会



## 安曇野シルバ－人材センター スローガン

「安全は全てに優先する  
怪我をしない・させない」

お陰様で昨年当シルバ－は、熱中症は「0」でした！今年も熱中症「0」を目指して、皆様の日々の注意を是非とも、お願い致します。

今日も楽しく「和」を持って皆で声かけ「安全就業」



## 職員の動き

**退職** 平成24年3月31日  
穂高地区長 赤沼ちよみ  
三郷地区長 務台 哲朗  
堀金地区長 本田 富保

**採用** 平成24年4月1日  
穂高地区長 和田 博  
三郷地区長 務台 一之  
堀金地区長 北林 幹男

お世話になります。お詫言ひ致します。

**配分金の振込日**

- 7月分は8月20日(月)
- 8月分は9月20日(木)
- 9月分は10月19日(金)
- 10月分は11月20日(火)
- 11月分は12月20日(木)
- 12月分は1月18日(金)

## 会員のお悔やみ

滝沢 茂治様 平成24年2月2日  
依田 發夫様 平成24年4月30日  
ご逝去を悼み、心よりご冥福をお祈りいたします。

## 事務局だより

### 穂高地区長

和田 博



早いもので、シルバー

人材センターにお世話になって3カ月が経とうとしています。会員や発注者の皆さまには、行き届かないことばかりで迷惑をお掛けしていると思います。早く仕事に慣れ、会員や発注者の皆さまの要望に適切に対応できるよう心掛けたいと思います。

高齢化社会を反映し、今、発注者の皆さまの要望は多岐にわたっており、要望はあってもその受け手の会員は非常に減っている状況もあります。電話を通して仕事を受けたり、また依頼することも多いわけですが、それぞれと良い関係をつくりたいと思っています。

### 三郷地区長

務台 一之



今年より三郷

担当としてお世話になっておりま

す務台一之です。早いもので3カ月が過ぎ、少しずつ仕事にも慣れてきた気がしております。

シルバー人材センターの職種がこのように多岐にわたり、多くの会員の皆さまが永年培った経験と知識を活かされて活躍されている様子に驚きの毎日です。

私も一日も早く仕事に慣れ、発注者と会員との橋渡しを円滑に進めてまいりたいと思っております。

何かとご迷惑をお掛けしているかと思いますが、今後とも宜しくお願いいたします。

### 堀金・明科地区長

北林 幹男



今年39年間勤

務した職場を無事定年退職し、4月からシルバー人材センターにお世話になっております。早いもので3カ月が過ぎましたが、まだまだ分からないことが多く、会員の皆さまや発注者の方に迷惑を掛けております。

現代は「向こう三軒両隣」の間関係が希薄化して「隣は何をする人ぞ」と無関心なためか、高齢者からの依頼がたくさんありま

**観光ガイド講習を開催します**

今年、観光ガイド講習を計画しました。

**期間：9月11日～9月28日の10日間**

地元安曇野の大自然をお客様に堪能していただくと共に、また聞きたくなるような名(迷?)ガイドを目指し、皆さん挑戦してみませんか!?

**申込期間：7月30日～8月29日**

平成24年4月から普及啓発として、シルバーの車の横にシルバーの就業広告を貼りました。

す。そんな時、親切・丁寧に対応し、シルバーに頼んで良かったと言われるように励んでいきたいと思ひます。

皆さまから早く顔を覚えて頂くよう頑張りたいと思ひますので宜しくお願い致します。



堀金地区 さつまいも苗植え作業

# 私のシルバ－人材センター

## 13年を顧みて

豊科地区 高木八十吾

**平** 成10年10月、約40年勤めた会社を定年退職して11年4月人材センターへ入りまし

た。当時の所長さんは白井さんで大変面倒見の良い方でした。

翌日より仕事があり、料理屋のフェンス作りで3日間かかり大変喜ばれました。有明の桶屋で桶作り、三郷でリンゴの摘

果、ダンボール工場、製作所等々、5月下旬から広水電子で梱包とオーデイオ製作を2年間、16年4月から町の老人福祉センターで施設管理を8年間、社会福祉協会の方々には大変お世話になりました。

**昨** 年の総会で10年以上の表彰を受けました。16年7



月、互助会のサークル活動で筆耕友の会が発足し、穂高の鈴木さんが会長になり、私が講師を務めることになり、後に会長が坂巻さんに引き継がれて現在も10人程の会員が月2回の勉強会で楽しく習字を習っています。

このシルバ－10年間は私の

第二の人生です。大変充実した時を過ごさせていただきまして感謝申し上げます。最後にシルバ－人材センターの益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

三郷地区 果樹班班長

佐々木 胤明

**先** 輩の勧めで、「りんごの摘果作業をやってみないか」と誘われ入ったのが、果樹

班でした。広いりんご畑での作業は初めてであり、仲間との共

同作業、高所作業は最初戸惑いもありました。会員は現在34名、時期が集中する摘果作業は花摘を含め、5月初旬～6月中旬の間、4名～8名程度の班に分かれて行っています。作業前のミーティングは、オーナーを交えて現地で行っています。

**果** 樹作業は脚立を使用する機会が多いので、墜落防止のため、お互い声を掛け合い事故防止に努めています。また、

果樹班のウエートを占める作業に「JAあづみ中央選果所」での作業があります。安曇平で採れた各種のりんごの箱詰め作業、コンテナ整理等の仕事で、9月初旬～12月中旬の間、りんごの葉摘、収穫作業と平行して毎日10名程度の要員で交代で作業にあたっています。朝7時45分集合、ラジオ体操実施後ミーティング、8時から作業に就きます。ベルトコンベアーの近接作業や空コンテナの運搬整理には危険が伴いますので、細心の注意が必要です。

「オーナーとりんご」に感謝し、仲間を信じ、安全で明るい職場にしていきたいと思っています。

## 編集後記

平成24年度公益社団法人安曇野シルバ－人材センターの活動が始まりました。

今年度は、役員改選の年にあたり、横山理事長が再任されました。そのほかの理事もそれぞれ新しい委員長、委員となられシルバ－発展に寄与されます。

広報委員も一新会員の皆さんのお役に立つ会報をお届けしたいと思っております。

皆さま方の投稿をお待ちしております。

調査広報部

古幡 菊子  
尾日向 洋  
佐々木胤明

